

アポロニア21

Jan. 2018, No.289

1

生きた歯科情報を伝える。医院経営・総合情報誌

特集

学んで伸ばそう！ 医院力

- 新人ドクターを6年でプロにする教育システム
- 開業専門医に学ぶ、治療・マネジメント
- 「算命学」で医院経営の悩みを解決
- 「歯科プロ」でセミナーの検索・受講が簡単に

横須賀正人／栗林研治／小野寺鏡子／赤司征大／松井達治／児玉充晴／水口真理子

安田登編集室 | 200回記念！歯科医療の変化を振り返る • 安田 登

新連載 | 今、気になる歯科器材 • 内田昌徳

新連載 | 奇想天外 つれづれタイ日記 • 吉田和世

レポート セルフケアグッズ売上月120万円の秘訣

中原維浩



院長Interview



人材育成と より良い 歯科医療を

医療法人RDC アール歯科セントラルクリニック
埼玉県さいたま市

酒井 亮氏

Sakai Ryo

日本歯科大学を卒業後。2007年に医療法人港会みなど歯科クリニック コットンハーバー院長に就任。08年に「アール歯科クリニック」を開院。医療法人RDC理事長を務める。現在「アール歯科クリニック新井宿」「アール歯科クリニック川口芝」「アール歯科セントラルクリニック」を含む4つの系列院を経営。

●アール歯科セントラルクリニック
スタッフ:歯科医師3人、歯科衛生士4人、
受付2人、歯科技工士5人
ユニット:7台 駐車場:6台分

どんな患者さんでも通いやすい 医院を目指して

—2017年10月に開業したばかりとのことです、どのような点にこだわりましたか。

酒井 当法人の中でも、若手をしっかり育成できる研修施設のような医院にしたいと考えました。そのため、スタッフは20代後半～40代と若い年齢層で構成しています。

開業してまだ2カ月余りですが、系列院とのカルテ共有を行っているので、当初より子

どもから高齢者まで幅広い年齢層の患者さんが来院しています。

1階のキッズスペースには、世界中の知育玩具や遊具を扱うボーネルンド社の製品を置いています。子どもの成長を考え、素材などの安全性にも配慮した玩具なので、安心して遊ぶことができます。親御さんが治療を受けている間は、スタッフの一人がなるべくお子さんを見守る体制にしています。

そして子ども用トイレやおむつ交換台、広いスペースを設けた多目的トイレを完備して



1階の診療室。ミッキーやシンデレラをモチーフにした壁紙を、部屋ごとに変えて装飾。日の光が差しこみ、患者さんがリラックスして診療が受けられる空間となっています。



受付ではAI機能搭載の人口ボット「ペッパー」がお出迎え。あまり歯科医院の従来イメージを与えないよう、歯科に関する書籍やパンフレットを置いていないという。各精油の特徴や作用に応じてアロマの香りを定期的に変えている。



ボーネルンド社の知育玩具・遊具を置いたキッズスペース。



子ども用トイレ(上左)、車椅子でも入れる多目的トイレ(上中)、院内エレベーター(上右)、玄関前のスロープ(下)など、どんな患者さんでも通える院内環境が整っている。

おり、玄関前のスロープやエレベーターの設置など、小さなお子さん連れや車椅子の患者さんでも通いやすいよう十分な環境・設備を整えています。

1階は定期健診やクリーニングなどの予防とホワイトニング、デンタルエステを行うフロアで、3部屋全て個室にし、おしゃれで快適な空間にしています。

2階はブラインド付きガラス扉の完全個室1部屋と半個室3部屋を用意しており、半個室の診療室においても、スタッフが隣の部屋に行き来しやすい動線を確保した上で患者さん同士の間はしっかりととした壁で仕切り、周

りの音を煩わしいと感じさせない空間にしています。

私も子どものころから歯科医院特有の音や



医院は3階建て。



2階の完全個室の診療室。マイクロスコープやレーザー等の器材が備えられ、ブラインド付きのガラス扉で患者さんのプライバシーを守り、外の様子を気にせずに治療が受けられるようになっている。



2階の半個室診療室。各部屋の壁にはモニター2台を設置しており、一つは映画やドラマの鑑賞、もう一つは患者さんへの治療説明に使用している。モニター操作用のiPadとペン型口腔内カメラも用意。



左／スタッフが隣の部屋に行き来しやすい動線を確保。
右／2階のバックヤードにあるクラスB滅菌器と高圧蒸気滅菌器、ミーレのジェットウォッシャー。院内感染予防対策も徹底している。



左／技工室。現在5人の歯科技工士が在籍。室内規模は最大10人まで。
右／セミナールーム。両脇の引き戸を開けると、スタッフの私用スペースがある。

臭いが苦手でしたので、歯医者に苦手意識を持つ患者さんを考え、従来の雰囲気とは全く異なる歯科医院にするため、院内環境や器材設備などのあらゆる面で自分のこだわりを詰め込んでいます。

全分野に一定のレベルで対応

——年齢層以外に、患者さんの特徴や傾向はありますか。

酒井 「義歯が合わない」などの理由で東京から来院する患者さんもいます。地元の患者さんでも多くの方が都心勤務のため、口腔領域の健康への関心度は東京の患者さんと同じように高いと思います。

保険や自費に特化することなく、全ての分野に一定のレベルで対応できる体制を重視して、日々の診療に取り組んでいます。

こういった環境で働くことで、若手の歯科医療従事者にとっても臨床スキルの向上だけでなく、チーム医療や患者さんとのコミュニケーションの在り方、経営ノウハウなど、多くの学びや気付きが得られると思います。

人材確保を考慮し法人化

——若手の人材育成で工夫している点は。

酒井 3階にはスタッフ専用のセミナールームを設けており、外部から講師を呼んで勉強会を開くなど、みんなで歯科医療の質を高める機会をつくりたいと考えています。

また、セミナールームの両脇にはスタッフを利用する男女別の私用スペースがあり、職掌の区別なく使用しています。仕切りの扉を開ければ、セミナールームを介して男女ともに顔を見交わして会話できる開放的な空間になります。

同じ医院で共に働く上で、普段からの何げないやりとりはとても重要です。一つ一つのコミュニケーションの積み重ねによって、治療時にも意思疎通がしっかり図れるようになると思います。

また、3階には院内技工室があり、現在5人の歯科技工士が在籍しています。患者さんに精度の高い補綴物を提供するために、優秀な歯科技工士の確保も重視しています。

若手歯科医師の大半は臨床スキルの向上を



左／AI機能を搭載した人型ロボット「ペッパー」。
右／液晶パネルでの操作で受付が行える。



医院の専用アプリ。診察券の代わりになり、診察予約が簡単にできる。来院日の前日にはプッシュ通知が届く機能も備え、iPhoneの「カレンダー」「リマインダー」との同期も可能。インストールは無料で、「ペッパー」の機能とも連動している。

できるので、医院の業務効率化にも役立っています。

また、歯周病や歯ぎしりなどの歯科に関する質問に対して音声で解説して患者さんから親しまれていますが、今後はAIの学習能力によって患者さんの診療内容と連動したカウンセリングもできるようになると思います。

さらに遠隔機能を搭載すれば、在宅のスタッフが受付業務を行うこともできるので、産休・育休中のスタッフも安心して働ける体制づくりに役立つと考えています。

——今後の目標を教えてください。

酒井 現在、私は歯科人材教育機構(山本潤代表)の副代表も務めており、2018年1月にはセミナーを開く予定です。

同機構は歯科診療・経営の双方の面で意識の高い人材を育成し、周りの歯科医療従事者にも良い影響が与えられる好循環サイクルをつくることを目的としています。

当院スタッフの育成に加え、これから歯科医療を担う人々のサポートを行い、さらに患者さんにとってより良い歯科医療を提供できるようまい進していきたいと思います。